



# tv asahi

## 第71期 中間報告書

平成22年4月1日 ▶ 平成22年9月30日



NEW AIR, ON AIR.



5<sup>CH</sup>  
地デジ



皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

第71期中間報告書をお届けするにあたり、皆様の日頃のご支援に、心から御礼申し上げます。

当社グループは、事業環境の変化に対応できるスリムで強靱な企業体質を創造するため、平成21年4月から平成23年3月末までの2年間を「改革断行期間」と位置付けました。第71期はこの2年目にあたり、コンテンツを軸とした収益機会の拡大とコストコントロールの徹底を図り、引き続き全社一丸となって改革に取り組んでおります。

スマートフォン、タブレット端末など各種デバイスの機能が高度化し、通信の高速化が進む中で、映像コンテンツの流通路は急速に多様化しています。そうした中で、テレビ局にとって重要なことは、お客様である視聴者・消費者・アドバイザーに愛され、選ばれる魅力的なコンテンツを創造し続けることでもあります。

当中間期におきまして、当社は番組制作費を抑制しつつ、プライムタイムのコンテンツ力強化に力を注ぎました。深夜や特番で実績のあるバラエティ番組を苦戦している放送

枠に投入し、タイムテーブルを補強いたしました。また「臨場」「同窓会」など強力なレギュラードラマを次々と投入し、2クールにわたって高い視聴率を安定的に獲得いたしました。この結果、プライムタイムの視聴率は同業他社が下がる中で、前年同期並みをキープすることができ、当社とトップとの差は開局以来の最小記録に並びました。若年層の視聴率も着実に上昇しております。こうしたコンテンツ力の強化を、収益の最大の柱である広告収入の拡大にしっかりと結び付けてまいりたいと考えております。すでに10月改編セールスでは、一部の高視聴率番組で単価を上昇させることが出来ました。

また、広告収入にとどまらず、こうしたコンテンツ力を活かした収益機会の拡大も着実に拡がりをみせております。「関パニ」「SMAPがんばりますっ!!」などのDVD化、「TRICK」や「仮面ライダー」シリーズの映画化、「学べるニュース」の書籍化などは当中間期の収益に貢献いたしました。朝日新聞社、KDDIとの協業による携帯電話向け総合情報配信サービス「EZニュースEX」も、会員数が9月に100万人を突破しました。

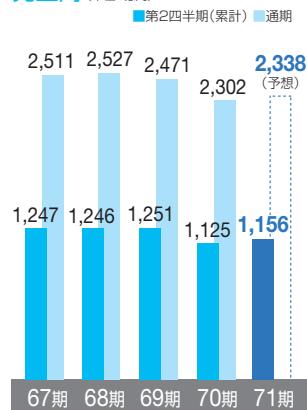
今後もお客様に愛されるコンテンツを数多く生み出すことで業績の向上を図り、株主価値の向上を目指して努力してまいります。株主の皆様におかれましては、今後とも、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年12月

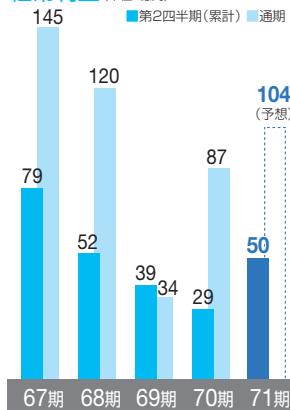
代表取締役社長

早河 祥

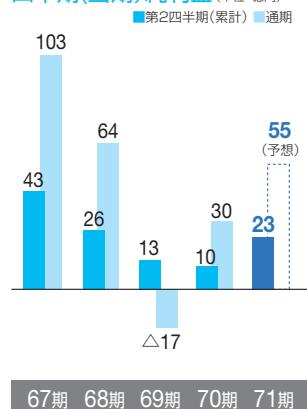
売上高



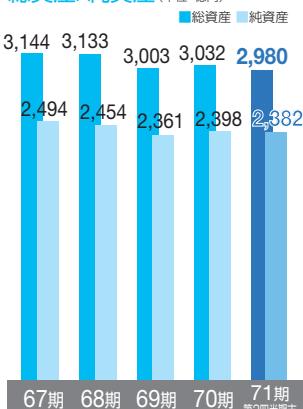
経常利益



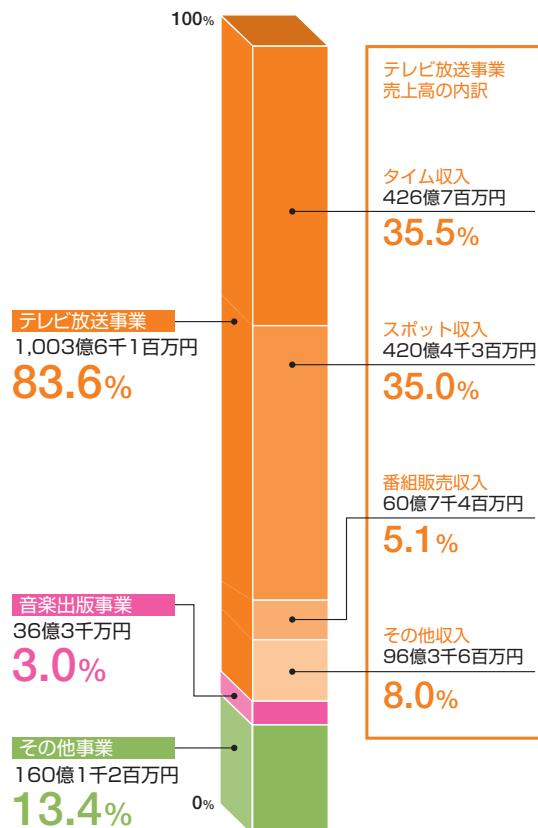
四半期(当期)純利益



総資産/純資産



事業別売上高構成比(%)



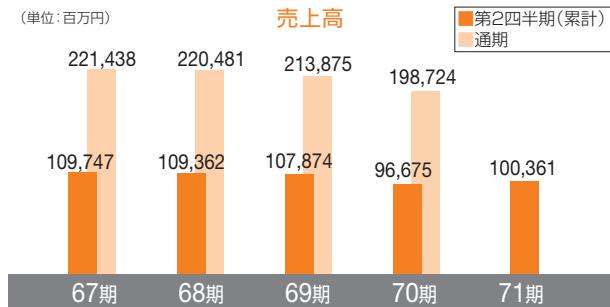
(注)事業別売上高・構成比はセグメント間取引消去前のものです。

テレビ放送事業

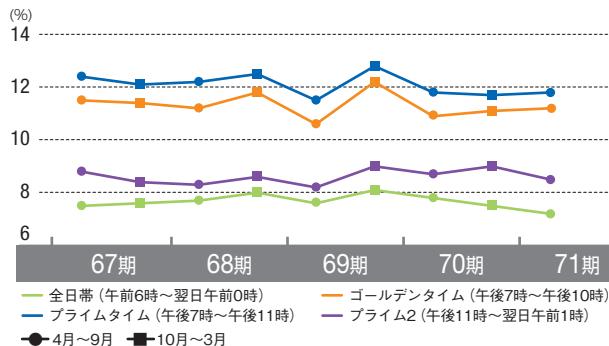
売上高 100,361百万円  
(前年同期比+3.8%)

営業利益 2,148百万円  
(前年同期比 -)

83.6% (売上高構成比)



テレビ朝日の時間帯別視聴率の推移 (半期毎)



※ 視聴率データは、いずれもビデオリサーチ調べ

編成コンセプトと成果

平成22年4月・7月編成では、番組制作費の抑制を続ける中、プライムタイムの強化に力を注ぎました。その結果、視聴率は全日帯(午前6時～翌日午前0時)7.2%、プライムタイム(午後7時～午後11時)11.8%、ゴールデンタイム(午後7時～午後10時)11.2%、プライム2(午後11時～翌日午前1時)8.5%となりました。ゴールデンタイムは前年同期比で民放他社が下落する中で上昇し、プライムタイムは1位との差が開局以来最小タイを記録しました。

バラエティでは、平日プライム強化のため4月編成で投入した「もしものシミュレーションバラエティー お試しっ!」(月曜夜7時)と「そうだったのか! 池上彰の学べるニュース」(水曜夜8時)が高視聴率を記録しました。また、夜11時台のネオバラ枠も引き続き高い評価をいただいております。

り、このうち「シルシルミシル」(水曜夜11時15分)のゴールデン版「シルシルミシルさんデー」(日曜夜7時)を、日曜プライム強化のため7月編成で新たに投入しました。

ドラマでは、ドラマスペシャル「TRICK新作スペシャル2」が高視聴率だったほか、「臨場」「新・警視庁捜査一課9係」「同窓会～ラブ・アゲイン症候群」などのレギュラードラマも安定的に高い視聴率を獲得しました。

スポーツでは、「2010 FIFAワールドカップ南アフリカ 日本×オランダ」「全英オープンゴルフ」、プロ野球「マツダオールスターゲーム2010」など注目の熱戦を放送いたしました。

報道情報番組では、「報道ステーション」をはじめ各ベルト番組がタイムリーな報道で引き続き厚い信頼を得ております。



「そうだったのか! 池上彰の学べるニュース」



「臨場」



「2010 FIFAワールドカップ 南アフリカ」



「選挙ステーション2010」

(単位：百万円)

	70期 第2四半期(累計)	71期 第2四半期(累計)	前年同期比	
売上高	96,675	100,361	3,686	+ 3.8%
● タイム収入	41,367	42,607	1,239	+ 3.0%
● スポット収入	39,491	42,043	2,552	+ 6.5%
番組販売収入	6,136	6,074	△ 61	△ 1.0%
その他収入	9,680	9,636	△ 44	△ 0.5%
営業利益	△ 124	2,148	2,273	—

### タイム収入

アドバイザーの固定費削減傾向は根強かったものの、夜11時台のネットセールス枠の新設、一社提供番組の導入などにより、レギュラー番組のセールスは前年同期に比べ増収となりました。単発番組についても、「2010FIFAワールドカップ南アフリカ」、ドラマスペシャル「TRICK新作スペシャル2」などを編成することで増収を達成しました。この結果、タイム収入合計は増収となりました。

### スポット収入

前年下半期からの回復傾向が続き、好調に推移しました。業種別では、「出版」「家庭用品」は低調だったものの、「サービス・娯楽」「輸送機器」「金融・保険」「衣料・身の回り」をはじめ16業種中10業種が前年同期を上回ったため、増収となりました。

## 音楽出版事業

売上高 3,630百万円  
(前年同期比+4.7%)

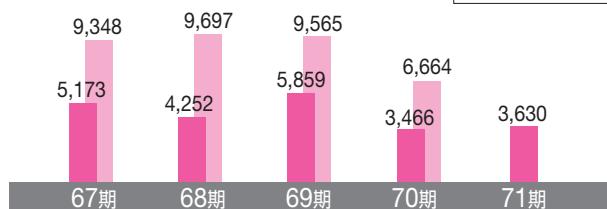
営業利益 442百万円  
(前年同期比+9.6%)

3.0% (売上高構成比)

(単位：百万円)

売上高

■ 第2四半期(累計)  
■ 通期



(単位：百万円)

	70期 第2四半期(累計)	71期 第2四半期(累計)	前年同期比	
売上高	3,466	3,630	163	+4.7%
営業利益	403	442	38	+9.6%

テレビ朝日ミュージックの専属アーティストが引き続き活躍しております。活動を再開した「ケツメイシ」のシングル2作品や「HY」の全国ツアーなどが好評を博したほか、



ケツメイシ「お二人 Summer」

各アーティストが夏のロックフェスティバルに積極的に参加し、グッズの販売も好調でした。また、音楽著作権の管理事業も好調に推移したことから、音楽出版事業は増収となりました。

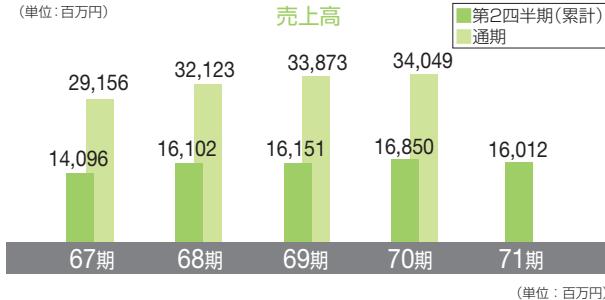
## その他事業

売上高 16,012百万円  
(前年同期比△5.0%)

営業利益 1,224百万円  
(前年同期比△19.9%)

13.4% (売上高構成比)

(単位:百万円)



(単位:百万円)

	70期 第2四半期(累計)	71期 第2四半期(累計)	前年同期比	
売上高	16,850	16,012	△837	△ 5.0%
営業利益	1,529	1,224	△304	△19.9%

### ● 出資映画事業

「劇場版TRICK 霊能力者バトルロイヤル」がヒットしたほか、「超・電王トリロジー」が予想を超えるヒットとなりました。「仮面ライダーW・天装戦隊ゴセイジャー」もシリーズ歴代3位の興行収入を達成し、出資映画事業は増収となりました。

### ● イベント事業

「ボストン美術館展」「大つけ麺博」が多くの観客を動員したほか、夏恒例の「SUMMER SONIC 2010」「FUJI ROCK FESTIVAL'10」などのイベントも好評を博しました。しか

し記録的な入場者数となった前年同期の「国宝 阿修羅展」の反動減や、イベントの物件数自体が減少したこともあり、減収となりました。

### ● DVD化事業

記録的な出荷数となった前年同期の「アメトーク!」の反動減があったものの、「関パニ」「テレシネマ7」「SMAPがんばりますっ!!2010 10時間超完全版」が好調に推移し、増収となりました。

### ● ショッピング事業

「ちい散歩」内の通信販売コーナーが堅調に推移しました。ただし、定番商品を上回る新たなヒット商品の発掘にはいならず、減収となりました。

### ● インターネット事業

朝日新聞社、KDDIとの協業による携帯電話向け総合情報配信サービス「EZニュースEX」が9月27日に会員数100万人を突破し、増収を牽引しました。動画配信サイト「テレ朝動画」も好調で、多メディア展開の取り組みも積極的に推し進めています。

### ● CS事業

CS放送「テレ朝チャンネル」の加入者数は9月末時点で356万世帯に増加し、増収となりました。



劇場版「W・ゴセイジャー」製作委員会  
©2009石森プロ・テレビ朝日・ADK・東映  
©2010テレビ朝日・東映AG・東映



「ボストン美術館展」



「EZニュースEX」



「ちい散歩」

四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、百万円未満切捨)

科 目	当第2四半期末	前第2四半期末	前期末
	平成22年9月30日現在	平成21年9月30日現在	平成22年3月31日現在
<b>(資産の部)</b>			
流動資産	134,339	130,739	138,497
固定資産	163,671	166,148	164,763
有形固定資産	72,799	67,565	66,136
無形固定資産	6,491	5,378	6,754
投資その他の資産	84,379	93,204	91,872
資産合計	298,010	296,888	303,261
<b>(負債の部)</b>			
流動負債	44,486	43,960	48,330
固定負債	15,303	15,137	15,034
負債合計	59,790	59,098	63,365
<b>(純資産の部)</b>			
株主資本	235,717	233,477	234,400
資本金	36,642	36,642	36,642
資本剰余金	55,342	55,342	55,342
利益剰余金	144,052	141,812	142,736
自己株式	△ 321	△ 321	△ 321
評価・換算差額等	△ 2,734	△ 697	385
その他有価証券評価差額金	△ 2,594	△ 568	516
繰延ヘッジ損益	4	△ 13	—
為替換算調整勘定	△ 144	△ 115	△ 130
少数株主持分	5,237	5,010	5,109
純資産合計	238,220	237,790	239,895
負債純資産合計	298,010	296,888	303,261

四半期連結損益計算書

(単位：百万円、百万円未満切捨)

科 目	当第2四半期(累計)	前第2四半期(累計)	前期
	自平成22年4月1日 至平成22年9月30日	自平成21年4月1日 至平成21年9月30日	自平成21年4月1日 至平成22年3月31日
売上高	115,694	112,537	230,236
売上原価	84,667	85,572	170,905
売上総利益	31,026	26,964	59,331
販売費及び一般管理費	27,226	25,175	52,114
営業利益	3,799	1,788	7,216
営業外収益	1,346	1,258	2,110
営業外費用	132	111	582
経常利益	5,013	2,935	8,744
特別利益	—	—	122
特別損失	671	—	2,434
税金等調整前四半期(当期)純利益	4,342	2,935	6,432
法人税等	1,863	1,367	2,812
少数株主損益調整前四半期(当期)純利益	2,478	—	—
少数株主利益	156	472	594
四半期(当期)純利益	2,322	1,095	3,024

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円、百万円未満切捨)

科 目	当第2四半期(累計)	前第2四半期(累計)	前期
	自平成22年4月1日 至平成22年9月30日	自平成21年4月1日 至平成21年9月30日	自平成21年4月1日 至平成22年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,459	10,057	23,326
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 18,228	△ 2,852	△ 7,174
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,101	△ 2,076	△ 3,141
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 11	19	4
現金及び現金同等物の増減額(△減少)	△ 9,882	5,148	13,014
現金及び現金同等物の期首残高	57,357	44,343	44,343
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	47,475	49,491	57,357

テレビ朝日の財務情報は、  
ホームページでもご覧いただけます。

テレビ朝日 IR

<http://company.tv-asahi.co.jp/contents/IR/index.html>

## 会社の概要

商号	株式会社 テレビ朝日 (TV Asahi Corporation)
設立	昭和32年11月1日
放送開始	昭和34年2月1日
資本金	366億4,280万円
本店所在地	〒106-8001 東京都港区六本木六丁目9番1号
従業員数	1,228名
当社の事業所等	本社(東京都) アーク放送センター(東京都) 送信所・中継局(東京都ほか) : BS(コロンブス)(東京都)

## 役員

代表取締役会長	君和田正夫	取締役	角南 源五
代表取締役社長	早河 洋	取締役	中島 俊明
専務取締役	神山 郁雄	取締役	藤ノ木正哉
常務取締役	高野 圭司	取締役	秋山耿太郎
常務取締役	北澤 晴樹	取締役	荒木 高伸
取締役	堀越むつ子	取締役	岡田 剛
取締役	大塚 隆廣	取締役	北島 義俊
取締役	上松 道夫	取締役	武内 健二
取締役	金澤 一	取締役	渡辺 克信
取締役	亀山 慶二		

常勤監査役	有倉 幸生	監査役	奥村萬壽雄
監勤監査役	浅野 正夫	監査役	小林 孝一
監査役	荻谷 忠男		

(注) 1. 取締役秋山耿太郎、荒木高伸、岡田 剛、北島義俊、武内健二および渡辺克信の各氏は、社外取締役であります。  
2. 監査役荻谷忠男、奥村萬壽雄および小林孝一の各氏は、社外監査役であります。

## 株式状況

発行可能株式総数	発行済株式の総数	株主数
3,000,000株	1,006,000株	33,913名

### 大株主(上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社朝日新聞社	248,649	24.72
東映株式会社	161,842	16.09
財団法人雪雲美術館	50,300	5.00
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 大日本印刷口再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	40,300	4.01
九州朝日放送株式会社	32,147	3.20
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	29,776	2.96
株式会社リクルート	21,000	2.09
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	20,403	2.03
財団法人朝日新聞文化財団	20,120	2.00
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST	19,326	1.92

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都中央区八重洲二丁目3番1号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-176-417
(ホームページURL)	<a href="http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html">http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html</a>
公告の方法	当社のホームページに掲載いたします。 <a href="http://company.tv-asahi.co.jp/">http://company.tv-asahi.co.jp/</a> ただし、ホームページに掲載できない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、東京都において発行する朝日新聞に掲載いたします。
上場取引所	東京証券取引所
外国人等の株主名簿への記載または記録の制限	放送法第52条の8に関連して、当社の定款には次の規定があります。 第8条 本公司は、次の各号のいずれかに掲げる者から、その氏名および住所等を株主名簿に記載または記録することの請求を受けた場合において、その請求に応ずることにより、次の各号に掲げる者の有する議決権の総数が、総株主の議決権の5分の1以上を占めることになるときは、その氏名および住所等を株主名簿に記載または記録することを拒むものとする。 1. 日本国籍を有しない人 2. 外国政府またはその代表者 3. 外国の法人または団体 4. 上記1ないし3の各号に掲げる者により直接に占められる議決権の割合が総務省令で定める割合以上である法人または団体 ②本公司は、法令の定めに従い、前項各号に掲げる者が有する株式について、株主名簿への記載もしくは記録の制限または議決権の制限を行うことができるものとする。

## 株主様向け「ショッピング事業対象商品」特別優待価格でのご提供のご案内

当社では、株主様を対象に、厳選いたしましたショッピング事業対象商品を特別優待価格でご提供しております。同封のパンフレットに記載の専用ホームページもご覧いただき、ご希望の商品がございましたら、パンフレットまたは専用ホームページ記載の「株主様専用のご注文フリーコール」にお電話ください。

※ホームページでは、パンフレット掲載商品の内容をさらに詳しくご紹介しております。ホームページの商品説明を印刷して、お手許にお送りすることもできますので、下記お問合せ専用フリーダイヤルにお気軽にお電話ください。

### ●お問合せ先

株式会社テレビ朝日 株主様ご優待

お問合せ専用フリーダイヤル **0120-532-510** 10時～18時 日・祝・年末年始を除く